

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	垂井町	学校名	垂井町立表佐小学校			
校長名	長澤秀和	対象学年	5年・6年	人数	14名	
活動名	太鼓委員会活動		時間数	2時間 / 月	継続年数	33年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] ③文化（芸能） [表佐太鼓] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] 5 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [] 6 その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	○「表佐太鼓踊り」は地域を代表する伝統芸能（県重要無形文化財）である。 ○「子どもの時期から伝統文化に慣れ親しむ」ことが大切に考えられ、教育活動の一貫として表佐太鼓踊り保存会の方々の指導協力の下、現在まで続いている。					
<p>1 ねらい</p> <p>◎地域を代表する伝統芸能（県重要無形文化財）を引き継ぐ。 ◎子どもの時期から伝統文化に慣れ親しみ、ふるさとと表佐に対する誇りと愛着を育む。</p> <p>2 活動の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表佐小学校では委員会活動の時間に太鼓委員会を設け、月に2回活動をしている。 ・毎回数名の太鼓踊り保存会の方に、子どもたちの指導を行っていただいている。 ・夏季休業日には、表佐地区の祭典（10月第1日曜）にむけて練習を行い、太鼓委員会が代表で保存会の方々と一緒に祭りに参加する。表佐地区体育祭の太鼓踊りには全校児童が参加し、ふるさとの伝統に慣れ親しんでいる。 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、10月の表佐地区祭典で太鼓踊り保存会の一員として表佐太鼓踊りを披露する。表佐地区体育祭では演目のひとつとして全校児童が一同に会して表佐太鼓踊りを行っている。これらすべての練習の際に、表佐太鼓踊り保存会のご協力をいただき、地域の方と共に伝統文化を引き継ぎ、地域からの期待も大きい。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を続け、地域での発表の場を重ねる毎に伝統文化に親しみ、ふるさとに対する誇りや伝統を守ろうとする愛着心が育っている。 <p>〔児童の言葉〕</p> <p>「太鼓踊りの譜を覚えるのが大変でした。ひざ打ちで覚えるため、何回も練習をくりかえしていくうちにひざが赤くなり、ヒリヒリしました。ざいも太鼓もしょうごも、うでが痛くなり、練習もとても疲れました。しかし、表佐の伝統にふれ、それを守っていくという役割があります。また、舞台上で成功した時の拍手を聞くとがんばって良かったと思います。頑張ることに意味があると信じ、練習した成果を舞台上で披露したいです。」（太鼓委員長）</p>						
						